

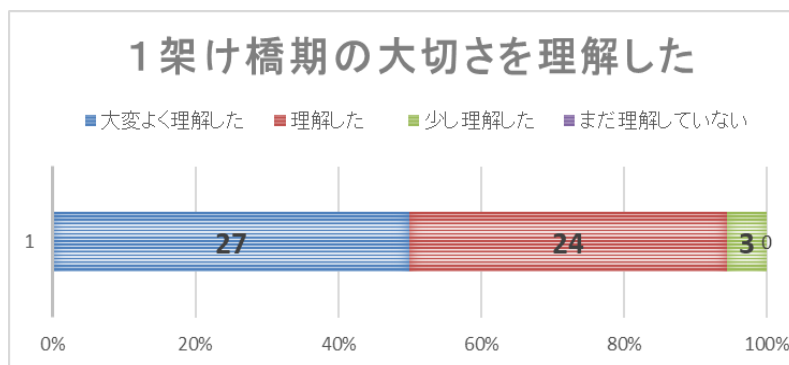
かけはし通信



第1回かけはし連絡会参加者アンケートのまとめ

令和7年5月27日に藤枝市役所岡部支所分館で開催されました「幼保こ小連携推進事業(かけはし)担当者連絡会参加者(小学校17名 幼保こ38名)に回答していただいたアンケート結果をお伝えします。

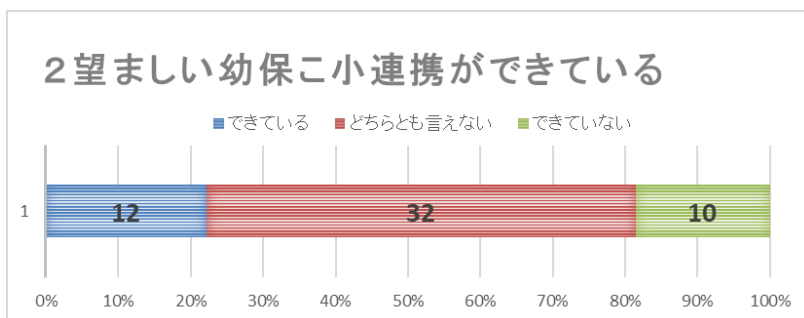
1 架け橋期の大切さについてご理解いただけましたか。



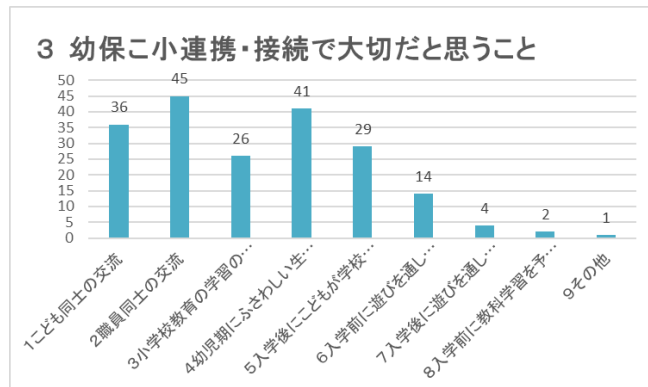
比較的小規模の園と学校では、気軽に連携ができているとの回答が多かったです。

コロナ禍以降休止となっている活動もあるため、今後の充実に期待する意見も多くありました。小学校の教員が園の様子を知る必要性をどちらの先生方も感じていました。

2 現在、望ましい幼保こ小連携ができていると思いますか。



3 幼保こ小連携・接続で大切だと思うものを教えてください。



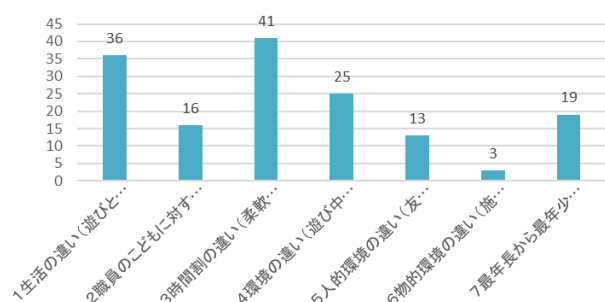
(4つまで
選択可)



- 1 こども同士の交流
- 2 職員同士の交流
- 3 小学校教育の学習の基盤となるよう、幼児期の生活や遊びを充実させること
- 4 幼児期にふさわしい生活を通して、幼児自身が創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培うようにすること
- 5 入学後にこどもが学校生活に慣れていけるよう、小学校が工夫や支援をすること
- 6 入学前に遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること
- 7 入学後に遊びを通して、教科学習に関する体験・経験をさせること
- 8 入学前に学校の教科学習を予め体験・経験させること
- 9 その他(相互理解を深め、手立てを考えること)

4 就学前の教育と小学校教育との違いにおいて、幼児への影響が大きいと思うことはどんなことですか。(3つまで選択可)

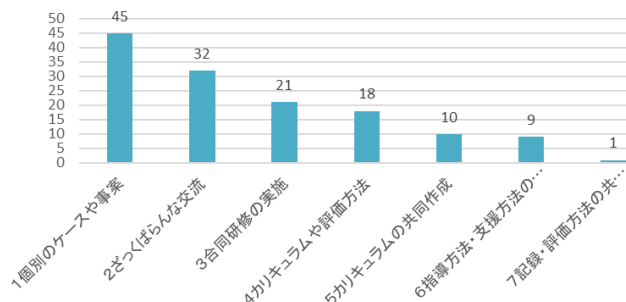
4 園と小学校との違い



- 1 生活の違い (遊びと教科学習)
- 2 職員のこどもに対する声かけや支援の違い
- 3 時間割の違い (柔軟で自由な生活時間と教科学習の時間割)
- 4 環境の違い (遊び中心と学習中心)
- 5 人的環境の違い (友達や教職員などの人間関係)
- 6 物的環境の違い (施設の大きさや広さ、掲示物、色使い等)
- 7 最年長から最年少の学年になることへの戸惑い

5 幼保こ小の職員同士の情報交換や交流として、行った方がよいと思うことを教えてください。(3つまで選択可)

5 幼保こ小の職員同士で行うとよいこと



- 1 個別のケースや事案の情報共有や意見交換
- 2 ざっくばらんな交流
- 3 合同研修の実施
- 4 カリキュラムや評価方法について
- 5 カリキュラムの共同作成
- 6 指導方法・支援方法(就学支援含む)の共同作成
- 7 記録・評価方法の共同作成

6 入学前に園で身につけておくことで、小学校への接続がスムーズに行えると思うこと

【教科学習面】

- ・人の話を最後まで聴くこと ・集中して遊びきること
- ・いろいろなことに興味・関心をもち、やってみようと思うこと

【生活指導面】

- ・身辺自立、自分のことは自分でやろうとすること ・基本的生活習慣を身につけること
- ・困ったことや自分のおもいを伝えること(ヘルプサインを出すこと)

7 幼保こ小連携・接続を進めていく上で、障害となると思われること

- ・時間の確保 ・年間計画のすり合わせ(多くの園との日程調整) ・園と学校の規模の違い
- ・園から複数の小学校へ入学すること ・こども同士の交流のための施設間の距離

8 入学にあたって、小学校に期待することや事前に知っておきたいことなど(園関係者回答)

- ・学校での1日の生活リズム、給食の時間、行事などの詳細を知りたい
- ・入学後のこどもの様子を知りたい(授業参観・1年担任との交流)
- ・園でのこどもたちの様子を見てほしい
- ・要録にその子の育ちについて記してあるので、是非活用してほしい



9 今後、学校や園で取り組みそうなこと（やってみたいこと）

【園】

- ・幼児期に大切にしたいことを丁寧にやっていく
- ・近隣園同士のこどもの交流 ・職員・こどもの交流 ・お互いの職員の施設訪問
- ・小学校が楽しみになるような活動（お散歩で小学校に寄る 遊具で遊ばせてもらう）

【学校】

- ・小学校の行事（授業参観、音楽会、）、生活科の授業に招待する
- ・年長児に対する模擬授業 ・園児と一緒に学校の遊具で遊ぶ
- ・職員同士の連絡会を気軽に行う ・小学校の職員が園の様子を見に行く
- ・生活科のまちたんけんで園を訪問する



本日の連絡会で感じたこと・大切にしたいこと

こういう場があることで、話せることやわかることがあるので**実際に会って話す時間を作ることは大切**だと思った。幼稚園保育園で身につけたことが小学校でも続けてできるように、支援していきたい

園で取り組んでいたことが、小学校につながっていたことを感じる事ができ、嬉しかったです。かけはしプログラムを理解、実践して、園の職員と共有し、こどもたちが安心して小学校に入学できるようにしていきたいと思いました。

地域の保育園、小学校の先生方とこどもの姿を語り合う時間が充実していました。はじめは**カリキュラムを作る**ということで、難しそうだなと感じていましたが、**こどもたちのためにも**小学校入学が大きなステップではなく、楽しくスムーズに進学できるよう考えていきたいです。

どの園も、学校も、こどもに願う姿や課題は同じ、ということが明確になったことで、職員の思う方向が同じことがわかり、**一体感が生まれた**ような気がしますし、安心しました。

保育園、幼稚園の先生方と話すことそのものがたいへん勉強になりました。**幼小どちらも同じ方向を向いて子どもを育てていることがわかり、安心**しました。まずは、ざっくばらんなお話ができて、情報を共有する事ができて貴重な時間となりました。これからやってみたい事がいろいろ出てきましたが、実現していけたらいいと思います。

今までは小学校へこどもたちを送るとそこまで終わってしまい、その後心配になることもありましたが、**かけはし期を大切にすることで長い目でこどもたちを見守ることが出来る**良い機会になること、小学校の先生たちと話す機会も今まで限られていたので とても良い時間となりました。

市をあげて、こうした接続に関する研修会が開かれるようになり、嬉しく思う。それだけこどもも保護者も多様化し、対応が難しい時代になってきたことを改めて感じるとともに、これが**実行されることが一番大事**だと思いました。

第1回連絡会の後、学校訪問や園訪問をさせていただく中で、早速職員同士の連絡会を実施したり、近隣園の年長さん同士の交流を試みてくださったり、学校から園の様子を見に行ってくださいたりしていることがわかりました。まずは知り合うことから始まり、保育・教育について語り合うことで、お互いを高め合い、深め合っていけると素敵ですね。

